

# 三条教区通信

第114号

発行日 2017年1月1日  
 発行者 三条教務所長 森田成美  
 発行所 真宗大谷派三条教務所  
 〒955-0071 三条市本町2丁目1-57  
 E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp  
 ホームページ: www.gobosama.net

三条教区 🔍

謹んで新年のご挨拶を申し上げます  
 旧年中の御厚情に感謝いたしますとともに  
 本年もよろしくお願ひ申し上げます  
 三条教務所・三条別院職員一同

## 今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

よ  
 世のもろびとよ  
 みなともに  
 このみさとしを  
 信ずべし

道俗時衆共同心 唯可信斯高僧説  
 『和訳正信偈』(真宗教団連合制定)

Let all the people in the world take refuge in this teaching.

Classical Japanese Translation of Shōshinge,

## 但馬新内局の発足について

12月16日の宗会(臨時会)において、両会から宗務総長の指名を受けた宗務総長の指名を受けた但馬弘氏が、19日をもって門首の認証を受け、正式に宗務総長に就任しました。また、同日付で5名の参務が任命され新内局が発足しましたので、お知らせいたします。

- 宗務総長 但馬 弘(たじま ひろし)  
 【大聖寺教区 第1組 興宗寺住職/宗議会議員】  
 参務 林 治(はやし おさむ)  
 【大阪教区 第19組 妙善寺住職/宗議会議員】  
 参務 木越 渉(きごし わたる)  
 【金沢教区 第11組 光専寺住職/宗議会議員】  
 参務 望月 慶子(もちづき けいこ)  
 【山陽教区 第6組 浄泉寺衆徒/宗議会議員】  
 参務・財務長 八島 昭雄(やしま あきお)  
 【北海道教区 第4組 徳生寺住職/宗議会議員】  
 参務 藤井 宣行(ふじい のぶゆき)  
 【岡崎教区 第4組 浄圓寺住職/宗議会議員】

## 三条教区災害対策委員会のお知らせ

去る12月22日に発生した糸魚川市大規模火災で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

報道でも伝えられておりますとおり被災家屋数は144棟に上っておりますが、大谷派寺院・教会・御門徒の被害につきましては、12月26日現在で、近隣寺院(高田教区 第1組内)の境内建物には直接的な被害は無かったものの、少なくとも26軒の御門徒宅が全焼、10数軒の御門徒宅に何等かの被害があった旨、報告がなされております。

2016(平成28)年熊本地震について、教区内寺院・教会をはじめ有縁の皆様から募りました救援金は、2016年11月23日現在で総額5,813,641円となりました。ご協力いただきました皆様に深く感謝いたします。

また、2016年6月30日付で4,097,161円を熊本教区に送金いたしましておりましたが、このたび2016年11月30日付で2回目の送金として1,615,671円を送金いたしましたことをご報告申し上げます。

熊本地震救援金につきましては、現在も受付を継続させていただいておりますので、引き続きご協力賜りますよう、何卒、お願い申し上げます。

これまで皆様からご協力いただいてまいりました東日本大震災救援金は2014年度末(2015年6月30日)現在、総額14,424,675円となりました(使途:仙台教区へ10,000,000円、東京教区へ2,000,000円、復興支援活動資金3,825,805円)。

2015年度より、東日本大震災救援金は、引き続き災害救援・復興カンパ金としてお受けいたしており、現在までにご協力いただいた金額は377,053円となりました。

御礼を申し上げますとともに、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 研修会のご案内

- 教区推進員教習 前期教習 開催案内既送
- ◆ 日時 2017年2月18日(土)～19日(日)
- ◆ 場所 教区同朋会館
- ◆ 講師 塚本智光氏(第18組 等運寺住職)
- ◆ 問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 「靖国問題」基礎講座

開催案内同封

- ◆日 時 2017年2月20日(月)14:00～16:30
- ◆場 所 教区同朋会館
- ◆講 師 鶴見 晃氏(教学研究所所員)
- ◆内 容 見真額に関する学習会
- ◆テキスト 『「大師号」と「勅額」』(増補改訂版)
- ◆参加費 500円
- ◆対 象 どなたでも
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波)
- ◆その他 テキストは当日無償配布します。

■ 真宗教団連合新潟県支部  
寺院研修会

開催案内既送

- ◆日 時 2017年1月24日(火)14:00～16:30
- ◆場 所 浄土真宗本願寺派 新潟別院  
長岡市与板町与板乙 4356 Tel 0258-72-2120
- ◆講 師 西谷明彦氏(中外日報社 編集長)
- ◆テーマ 過疎問題について～各宗の取り組みと成果～
- ◆対 象 僧侶・寺族・門徒(役員の方等)
- ◆参加費 無料
- ◆申込先 三条教務所(1月9日締切)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:結城)

■ 秋安居報告

第20組西養寺 高田直来

本年度は1716(享保元)年に光遠院恵空・初代講師が『大無量寿経』を講じたことに始まる大谷派安居が300年の節目を迎えた年であった。その中で類稀なご縁をいただき、本山における夏安居への参加が叶い、例年に増して教法を深く、そして長く聞思することができ、忘れられない安居となった。

さて、先日の三条教区秋安居では親鸞の「真実証」が重点的に取り上げられ、講義を通して「等正覚・正定聚」に表される「証」の立脚地に立ったものは、自然に「大涅槃・滅度」という「証果」へ至るといふ「証」の構造(=「証の二重性」)は初期仏教から浄土経典に至るまで通底していることが確かめられた。それにより宗祖が開顕された仏道は本願独自の特殊な仏道ではなく、釈尊に始まる普遍的な仏道である、ということの論究がなされたのであった。

詳細は講録に譲るが、個人的に印象に残ったのは「大乘仏教における仏道体系」に基づいた学びの立場で聖教を解釈する小川一乗氏の姿勢であった。今回の論究はあくまでも自らの立場に基づいたものであると小川氏は繰り返し指摘され、その立場によっては様々な見方があるのもいいのではないかと仰っていた様子が心に残っている。

宗祖によってあきらかにされた仏道で最も大切なのは、知識を増やし論理を組み立てていくような「学び」ではなく、「ただ念仏」の一道に立った「歩み」であろう。その「歩み」の一道をしっかりと押さえたならば、それが如何なるものかを解明していこうとする「学び」の立場はたくさんあってもいいのではないかと。逆に言えば「学び」の立場は多けれど、「歩み」の道は一つなのだと、小川氏の姿勢より薫陶を受けた。



真宗大谷派講師 小川一乗氏

ところで、秋安居を迎えるにあたって教学研究会では事前学習会を開催している。例年は一日(2～3時間)でテキストの一部を輪読するという形式で行っていたが、本年度は新たな取り組みとして日数を三日間に増やしてテキストを通読し、各日の輪読後に参加者同士でわかったところやわからなかったところを確認し自由に話し合うという攻究兼座談会を行った。書面に書き起こすとやや堅苦しく感じるが、実際はとてもフランクな雰囲気で各々の意見や考えを交換し合うことができた。参加者は各回7、8人くらいであったろうか。浅学非才な一スタッフの分際で物申すのも恐れ多いが、宗門の最高学事である安居だからこそ、その分野に長けた一部の者だけではなく、様々な立場の者同士が一つの聖教に学び合う場が必要であり、そういった場を小さいながらも作れたという意味においては今年度の事前学習会は良かったのではないかと思う次第である。

今後の反省と総括が待たれるが、皆様方よりご意見・ご指導賜ることをお願い申し上げて、報告としたい。

■ 教区坊守研修会報告

第11組浄覚寺坊守 山崎小夜子

12月15日、小雪のちらつく中、三条別院旧御堂にて74名のご参加をいただき教区坊守研修会が開催されました。6月の東北連区坊守研修会参加者の熱いラブコールに応じて、北海道からおいで下さった亀谷 亨先生をご講師に「報恩講について」というテーマで研修を行いました。

真宗門徒にとって最も大切な法要である報恩講は、自らの生きる依り所を顕らかにして下さった親鸞聖人のご恩を讃仰し、改めて真宗門徒としての私自身の生き方を教えに尋ねることを、年に一度きちんと確かめさせていただくために勤められる仏事であると定義されました。寺離れやご門徒が年を取って、仏事が仏事となっていくことが現代の大きな課題となっています。これからの報恩講を活性化するためのノウハウを模索したり、今ある報恩講の風景や見方を変えることは良いけれど、忘れてならないのは、南無阿彌陀仏の法に依りながら、「何のために生まれて、何をして生きるのか」という「生死出づべき道」を問い続けるということです。住職坊守の鎧を捨てて、一人の裸の凡夫、一人の愚

者として「生死出づべき道」を自らの生涯の課題として、ご門徒さんと一緒に尋ねて行こう、という立場で報恩講をお迎えして勤めていく、そこに報恩講が報恩講たりうるのですとお話し下さいました。

亀谷先生によって、きっちりと言葉に置き換えられた報恩講の心は、わたしにとってまさに“莊嚴”といえるものでした。

## 教務所からのお知らせ

### ◎ 松葉幼稚園新学舎建設工事に伴う教務所・別院へのアクセス及び駐車場について

境内地南西側(教務所至近)の西門は、工事のため自動車の通行ができません。来所の際は本寺小路を經由し、正門から入り、旧御堂前に駐車してください。なお、西門の自転車及び歩行者の通行は可能です。

詳しくは本紙同梱の「松葉幼稚園建設工事期間中の三条別院境内見取図」をご参照ください。

ご不便をおかけし申し訳ありませんが何とぞご理解賜りますようお願いいたします。

### ◎ 教区行事予定表 2017年

12/29(木)	～1月5日(木) 教務所事務休暇
1/12(木) 14:00	教化センター 真宗学院指導会議
1/16(月) 13:30	坊守研修会部門会議
1/18(水) 14:00	社会広報部会
1/18(水) 14:00	声明講習会部門会議 松葉幼稚園新学舎建設工事起工式
1/19(木) 14:00	教化センター
1/25(水) 14:00	企画委員会
2/3(金) 16:00	教学研究会輪読会
2/7(火) 14:00	推進員教習部門会議
2/9(木) 14:00	教化センター
2/18(土)	～19(日) 教区推進員前期教習
2/22(水) 14:00	企画委員会

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれます。また、日程は変更される場合があります。

## 駐在教導のつぶやき

駐在教導 藤波法英

私の地元に「神おくり・神むかえ」という行事が伝えられている▼少し時期が外れているが、神無月(10月)前後の夜、小さな神社に小学校3年生くらいから6年生の子どもたちが集まり、年長の代表者2人が並々とお酒のつがれたコップを片手に1kmほど離れたところにある石碑まで走って行き、お酒をこぼしながら戻って来る▼文字通り神様を送迎して「五穀豊穰」を願う神事であり、神様はお酒の匂いをたよりに行き来するのだと子どもたちは信じているようだ▼代表の年長者2人が帰ってくるまで他の子どもたちは社の中できちんと正座し、「おしゃべりしたり目を開けると神様が逃げていってしまう」と、頭を下げて静かに待つ▼大人になってし

まえば「今時そんなことを・・・」と思うことかもしれないが、目に見えない働きを感じ、目に見えない何かを尊ぶ感受性が育まれているのではないかと思うにつけ、今でも続けられていることに感心した▼後日、そんな思いを胸に「あの石碑に刻まれていた文字は何だったかなあ」と見に行ってみたところ、なんと「南無阿弥陀仏」と深く刻まれてあるではないか▼五穀豊穰をもたらす神様の出入り口が南無阿弥陀仏???・・・いつの時代からその石碑はあったのか?なぜそのように刻まれたのか?頭がこんがらがってしまった▼しかし、どうであれ目の前にたたずんでいるのは確かに六字の名号である。どこかですり替わってしまった地域の伝承であったが、この私にまで届いたお念仏の促しであることには間違いはない▼有り難く受け止めたいと思う。

## 新潟親鸞学会からのお知らせ

### 特別講座のご案内

「井上円了」知ってますか?

「ああ、あの妖怪博士でしょ」

普通は、ここで話が終わります。せいぜい「東洋大学の前身、哲学館の創設者ですよ」という程度のことまで、わが郷土の先覚者について、住職といえどもほとんどなみがないのが実情でしょう。

ところが、当時の新聞(新潟新聞)を広げてみますと、驚くべき仏教教化活動をされていたことが見えてきます。

廃仏毀釈で幕を上げた明治時代、押し寄せる西洋文化の政治経済、思想、科学技術の導入に伴い、解禁されたキリスト教が開明的知識人の心をとらえ、仏教界は混乱と自信喪失に陥っていました。こうした時代状況のなかで仏教哲学の旗を立てて立上り、全国を遊説したのが井上円了その人でした。

このたび、当会は真宗教団連合新潟県支部と共催して、次のように恒例の特別講座を開催いたします。会員外的一般市民も聴講可能ですので、お誘い併せてお出かけください。

日時 2017(平成29)年3月3日(金曜)13:30～16:00

会場 MEDIA SHIP 日報ホール(定員180名)

新潟市中央区万代3-1-1

(新潟駅からタクシー約5分・徒歩約10分)

講師 三浦節夫(みうら せつお)氏

1952年 宮城県生まれ。現在は東洋大学教授。井上円了研究センター研究員。主な著書『新潟県人物小伝 井上円了』(新潟日報事業社2014年)、『井上円了—日本近代の先駆者の生涯と思想』(教育評論社2016年)、『日本人はなぜ妖怪を畏れるのか』(新人物往来社2011年)ほか多数

講題 「井上円了『われ妖怪博士に非ず』」

聴講料 無料

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄  
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783 超願寺内  
Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Mail choganji@nifty.com